

第201回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年9月4日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 古磯 勝子 (副委員長)
青木 敬信
早川 富美子
長 茂男
君島 理恵
畠山 大

(2) 欠席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

今年4月から放送をスタートしたふるさと応援番組「遊&見〜♪ なすから情報局」の8月8日放送分(及び6月6日分)について、試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、毎週金曜日の午前11時30分から25分間放送している録音番組です。

今年度、下野新聞社との共同で那須烏山市の地域広報プロジェクトが発足。

そのラジオ版となるこの番組は、架空の組織「なすから情報局」で働くエージェントたちが、毎回、テーマに基づいて、市内を調査・報告するスタイルで放送しています。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

「中山かぼちゃ」や「カレーコロッケ」など那須烏山の地域性を感じられるテーマを取り上げていて、興味深い内容だった。番組で紹介された食べ物を購入したくなった。

委員：

調査内容に関連した選曲がユニークで印象に残った。また、番組全体もうまく構成されていて、楽しく聴けた。

委員：

一部、原稿の棒読みなどの不自然さがあったものの、登場する2人のエージェントは、番組構成の面からも役割が明確に分かれていて、その会話はどことなく心地がよく、その素直さに好感がもてた。

特に、番組のナビゲーター役である平林さんは、滑舌もよく、話が聞き取りやすく、また、インタビュー相手からも情報をうまく聞き出していた。

委員：

調査の様子が浮かんで来て、全体的には面白かったのだが、中山かぼちゃ編では、取材相手への質問の量が多すぎて、単調に聞こえる場面があった。

一方、カレーコロッケ編では、コロッケの味の描写や香りの表現に違和を感じる場面があり、また、お店ごとの味の違いや、カレーコロッケが地区一帯に広がった理由については、より踏み込んで伝えてほしかった。

委員：

オープニングパートでは、オフィスをイメージさせるキータッチ音などのSEの音量が大きめだった。音量のバランスを再度見直してほしい。

委員：

番組スタッフも出演させるスタイルには賛否があろうが、この番組の中では重要なスパイスとなっている。番組の随所に工夫や挑戦も感じられ、新鮮で楽しい番組に感じられた。

委員：

ただ、ひたすらカレーコロッケを求めてたんたんと調査を続けるスタイルが面白かった。この番組のように、一つのテーマに絞り込んで時間をかけて取材するスタイルは、地域に密着したふるさと番組に適しているのではないか。

委員：

他の多くの自治体提供番組とは異なる手法で地域を紹介していこうという姿勢が評価できる。また、番組は那須烏山地域のアピールという面で成功しており、地元の人もしんて放送を聴いている光景が浮かぶ。今後も引き続き、地元の人からも親しまれる番組作りに努めてほしい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を10月9日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 9月28日(日)午後9時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし